

「ウィルタネン彗星(3)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

12月上旬現在、ウィルタネン彗星はまだ5等級以下で、空の暗い場所で、月のない晩にやっと肉眼で見える程度の明るさしかない。しかし、軌道を計算すると、私の山荘(北軽井沢)から見て、浅間山の山頂真上に見える日が、一日だけあることがわかった。



天文シミュレーションソフト「ステラ・ナビゲーター」には、全国の地形データも入っている。ある特定の地点(緯度・経度)から見た、特定日時の「天体と地形の位置関係」を、事前に調べられる点が優れている。上図は、山荘の位置から見た、12月1日午前1:40の彗星の位置計算結果である。浅間山の山頂真上に見えることがわかった。



これが、その予報時刻に撮影した浅間山である。日周運動している恒星に混ざって、淡い光芒(— —)が写っている。これがウィルタネン彗星である。



写真を拡大すると、はっきりとした線として写っている、恒星の日周運動の中にぼーっとした光軌が写っている。彗星独特の写り方である。彗星も天球上を日周運動しているので、このように光芒そのものが動いて見えるのである。今のところ、私が撮影に成功したウィルタネン彗星は、この1枚だけだ。観賞用や教材用としては、少々お粗末である。



「ラブジョイ彗星とすばる」

2015. -1, 25 / 北軽井沢 / 撮影 ; C. Tanaka

上の写真は、3年前に撮影した「ラブジョイ彗星」の1枚である。日周運動を追尾する「赤道儀」を使用している。明るい彗星の核(コマ)が青緑色に写り、その右上に尾がはっきりと見える。右上にはおうし座のプレアデス星団(すばる)も見えて、今回の彗星の位置予報に近い。12月中旬には、これと似た写真が撮れることが期待できるので、今から楽しみだ。